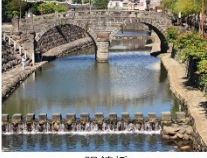
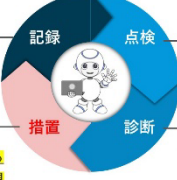


氏名 山口 浩平	役職 准教授	専門分野 橋梁工学・維持管理工学																
1. 主な研究テーマ ① 空港インフラおよび自治体管理橋梁の点検データ分析による効率的な維持管理手法の提案 ・ 開港40年以上経過 ・ インフラ構造物の老朽化 ・ 未補修のインフラ構造物  効率的な維持管理が必要  ② 点群データと画像解析を用いた橋梁点検・診断補助システムの開発  ・ 個々の損傷の写真撮影が必要 ・ 損傷写真や損傷図は2次元 ・ 2次元情報を基にした診断 多くの労力と時間がかかる  ・ 点検・診断の時間短縮 ・ 人員とコストの削減 ・ オンライン診断の可能性  一の瀬橋 <table border="1"> <tr><td>長さ</td><td>13.5m</td></tr> <tr><td>幅</td><td>4.8m</td></tr> <tr><td>築設年</td><td>1653年</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>長崎市本河内町</td></tr> </table>   眼鏡橋 <table border="1"> <tr><td>長さ</td><td>22m</td></tr> <tr><td>幅</td><td>3.65m</td></tr> <tr><td>築設年</td><td>1634年</td></tr> <tr><td>所在地</td><td>長崎市魚の町と露訪町の間</td></tr> </table>  ③ 生成 AI を活用した効率的な橋梁診断手法の確立 橋梁メンテナンスサイクル全体の最適化  措置(修繕計画)の最適化による持続可能な橋梁維持管理の実現 ・ 産官学連携で橋梁診断業務を対象とした実証実験を実施 ・ 生成AI技術を活用した診断案による診断業務課題の解決効果を評価 [実証実験の企画・実行]  [生成AI技術を活用したAIエージェントの提供] 建設コンサルタント 株式会社満田設計事務所 [橋梁メンテナンスの知見・ノウハウの提供] [実証実験の監修]  長崎大学 Nagasaki University 公益財団法人 長崎県建設技術研究センター Nagasaki Prefectural Center for Bridge and Infrastructure Technology Research [実証成果の評価] ④ コンピュータ断層撮影法および三次元非定常伝導解析を用いたコンクリートの内部欠陥形状の推定			長さ	13.5m	幅	4.8m	築設年	1653年	所在地	長崎市本河内町	長さ	22m	幅	3.65m	築設年	1634年	所在地	長崎市魚の町と露訪町の間
長さ	13.5m																	
幅	4.8m																	
築設年	1653年																	
所在地	長崎市本河内町																	
長さ	22m																	
幅	3.65m																	
築設年	1634年																	
所在地	長崎市魚の町と露訪町の間																	
2. キーワード 社会インフラ, 橋梁, 維持管理, 点検・診断, 自治体支援																		
3. 特色・研究成果・今後の展望等 研究室 HP : https://nagasakibridgelab.wixsite.com/mysite 社会のニーズに沿った、短期・中期・長期的な三本柱のテーマに取り組むことを心がけています。研究対象は、社会インフラ全般の新設や更新や維持管理ですが主に橋梁です。また、研究室単独、管理団体（自治体、空港管理団体）、企業（NTT ドコモソリューションズ、AGC、神戸製鋼所など）などと協働しています。																		